

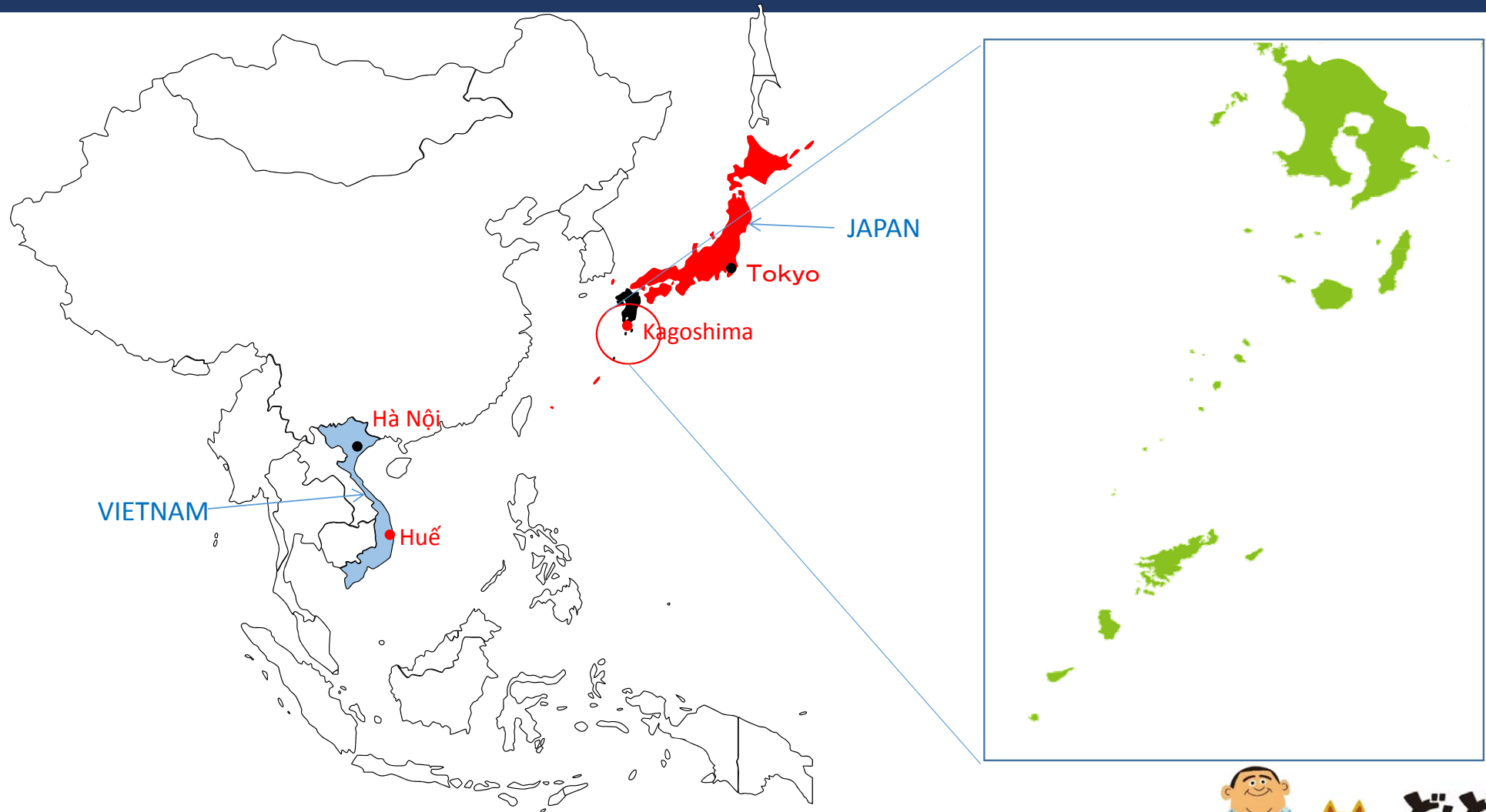
県と管内市町村の事務の分担, 市町村間の広域連携等について

2018.9

鹿児島県総務部市町村課
課長補佐 岩元 慎二



鹿児島県の位置



とんとん
鹿児島

鹿児島県のプロフィール

【人口】 1, 625千人(2017.10)
全国第24位(2015国勢調査)

【面積】 9, 187km²
全国第10位

【県内総生産】 5兆3, 885億円(2015年度)
全国第26位

【明治日本の産業革命遺産】

- ・2015年に世界文化遺産に登録
- ・8県11市の23遺産で構成



南北600kmにわたる
広大な県土

【世界自然遺産「屋久島」】

- ・1993年に我が国で初めて世界自然遺産に登録



【有人離島数】 26島

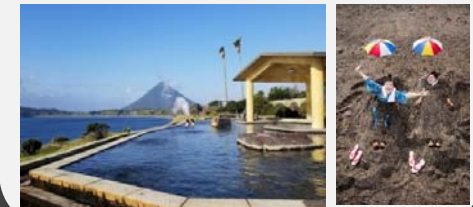
- ・離島面積は全国第1位

【桜島】



【温泉】

(源泉数2,773, 全国第2位)



【鹿児島の食】

鹿児島黒牛



黒豚



ぶり



焼酎



とんとん
鹿児島

鹿児島県内の市町村数と構成

種別		数	人口
市	中核市	1	599,814人(鹿児島市)
	その他	18	125,857人(霧島市) ～ 15,520人(垂水市)
町		20	22,400人(さつま町) ～ 5,186人(与論町)
村		4	1,722人(宇検村) ～ 407人(三島村)
合 計		43	

※2015年国勢調査



鹿児島県と県内市町村が行う主な事務

鹿児島県

- ・生活保護(町村の区域)
- ・高等学校の設置・管理
- ・都道府県道の管理
- ・警察

鹿児島市(中核市)

- ・保健所の設置
- ・一般廃棄物処理施設の設置許可
- ・特別養護老人ホームの設置認可・監督

権限移譲

- ・温泉採取許可申請の受理

市町村

- ・生活保護(19市及び福祉事務所設置2町村)
- ・小中学校の設置・管理
- ・国民健康保健事業, 介護保険事業
- ・一般廃棄物の収集・処理
- ・特別養護老人ホームの設置・運営

権限移譲

- ・屋外広告物の許可・除却

権限移譲

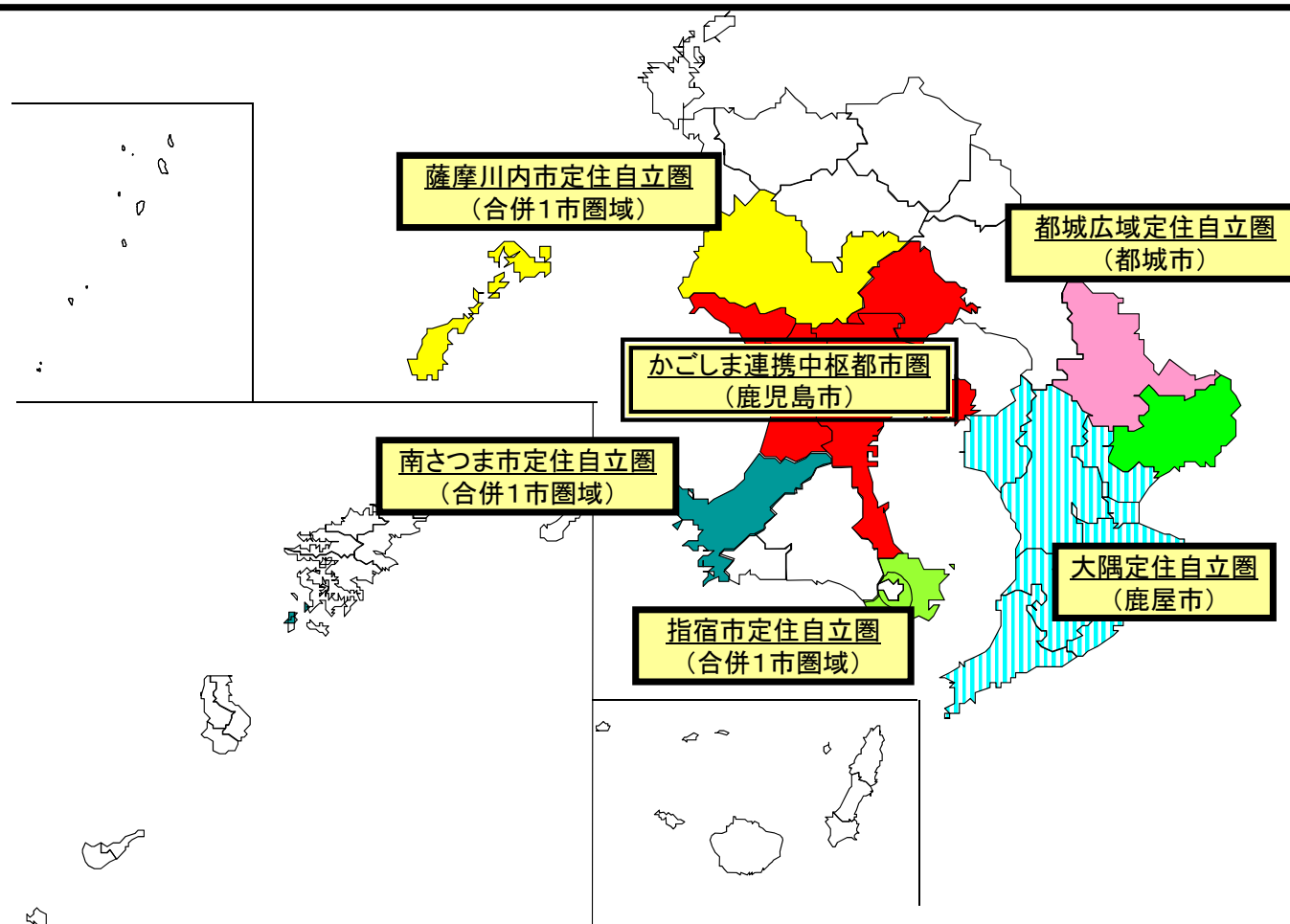
- ・市町村道の管理
- ・消防・救急活動
- ・住民登録



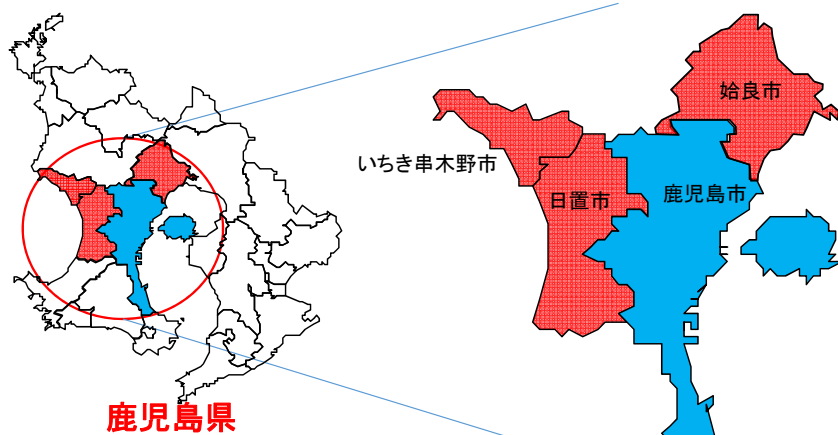
とんとん
鹿児島

連携中枢都市圏・定住自立圏の取組状況

鹿児島市を連携中枢都市とする「かごしま連携中枢都市圏」と五つの定住自立圏を形成



かごしま連携中枢都市圏



連携中枢都市宣言	連携協約	ビジョン策定	
2016.10.31	2017.1.19	2017.3.31	
連携中枢都市名	人口	昼夜間人口比率	
鹿児島市	599, 814	1. 014	
連携市町村名	人口	連携市町村名	人口
日置市	49, 249	始良市	75, 173
いちき串木野市	29, 282	圏域合計	753, 518

※2015年国勢調査

主な取組

経済成長のけん引

- 圏域内での創業を希望する者を対象とした合同セミナーの開催
- 圏域内の企業による合同企業説明会開催

都市機能の強化

- 圏域内の中核的医療機関である鹿児島市立病院の医療体制の充実
- 鹿児島中央駅周辺の市街地再開発等の推進

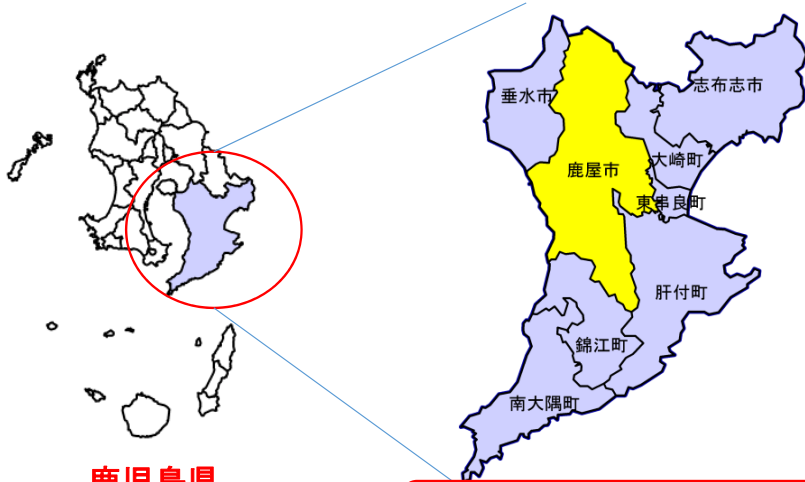
生活関連機能サービスの向上

- すこやか子育て交流館等の広域利用
- 圏域内の市立図書館の広域利用



どんどん
鹿児島

大隅定住自立圏



鹿児島県

圏域重複型(都城市圏域)

主な取組

生活機能の強化

- 夜間急病センター・救急電話相談センターの圏域共同での運営
- 救急医療機関の適正受診の圏域共同での啓発



結びつきやネットワークの強化

- 鹿児島市～鹿屋市間の直行バスの運行
- 鹿屋市と各市町間のバスネットワークの構築
- スポーツ交流促進パンフレットの共同作成



圏域マネジメント能力の強化

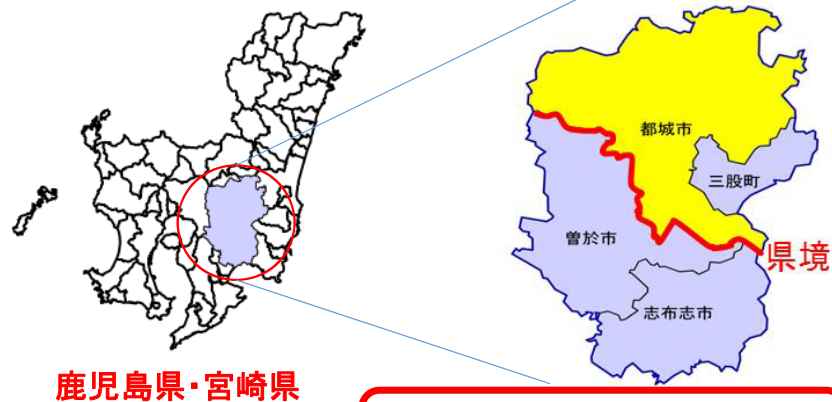
- 鹿児島市～鹿屋市間の直行バスの利用促進キャンペーン活動を通じた職員の交流促進
- 夜間急病センターの運営計画策定への圏域職員の参画

※2015年国勢調査

中心市宣言日	協定締結日	ビジョン策定日	
2008.3.27	2009.10.6・7	2010.3.31(1次), 2014.10.27(2次)	
中心市名	人口	昼夜間人口比率	
鹿屋市	103, 608	1. 010	
近隣市町村名	人口	近隣市町村名	人口
垂水市	15, 520	錦江町	7, 923
志布志市	31, 479	南大隅町	7, 542
大崎町	13, 241	肝付町	15, 664
東串良町	6, 530	圏域合計	201, 507



都城広域定住自立圏



鹿児島県・宮崎県

県境型
圏域重複型(鹿屋市圏域)

中心市宣言日	協定締結日	ビジョン策定日	
2009.4.22	2009.10.6	2010.3.3(1次), 2015.3.25(2次)	
中心市名	人口	昼夜間人口比率	
都城市	165, 029	1. 038	
近隣市町村名	人口	近隣市町村名	人口
三股町	25, 404	志布志市	31, 479
曾於市	36, 557	圏域合計	258, 469

※2015年国勢調査

主な取組

生活機能の強化

- 圏域の救急医療拠点施設(都城市郡医師会病院等)の整備
- 県境を越えた救急搬送体制の構築



結びつきやネットワークの強化

- 都城志布志道路の建設促進のための機運醸成とアクセス道路の整備
- 圏域の資源を活用した観光のネットワーク化や共通パンフレットの作成



圏域マネジメント能力の強化

- 圏域全体に共通する課題にグループワークで取り組む行政職員向け研修の実施
- 圏域内の人事交流



とんとん
鹿児島

薩摩川内市定住自立圏



中心市宣言日	協定締結日	ビジョン策定日
2009.3.30	2009.12.25	2010.3.25(1次), 2015.11.17(2次)
中心市名	人口	昼夜間人口比率
薩摩川内市	96, 076	1. 010

※2015年国勢調査

近隣市町村名	人口	近隣市町村名	人口
(旧)川内市	73, 236	(旧)里村	1, 517
(旧)樋脇町	7, 951	(旧)上甕村	2, 008
(旧)入来町	6, 454	(旧)下甕村	2, 803
(旧)東郷町	5, 978	(旧)鹿島村	892
(旧)祁答院町	4, 625		

※2000年国勢調査

主な取組

生活機能の強化

- 自然・歴史・文化などの豊かな地域資源を生かしたブランドの構築
- 各種子育て支援サービスの提供

結びつきやネットワークの強化

- 中心市街地と支所地域を結ぶ横断シャトルバスの運行
- 地区のコミュニティ協議会等の市民活動団体の情報サイトの開設

圏域マネジメント能力の強化

- まちづくり交流センター等との連携によるまちづくりに繋がる人材の育成や市民活動団体の設立促進



どんどん
鹿児島

南さつま市圏域定住自立圏

合併1市圏域



鹿児島県



南さつま市

主な取組

生活機能の強化

- 休日及び夜間の診察を行う在宅当番医の設置

結びつきやネットワークの強化

- コミュニティバスの運行
- 移住定住に係る支援や支援制度の周知

圏域マネジメント能力の強化

- 市民活動を行う団体が企画・実施する公益的な事業への取組促進(助成)

中心市宣言日

2015.9.29

協定締結日

2016.3.23

ビジョン策定日

2016.10.20

中心市名

南さつま市

人口

35, 439

昼夜間人口比率

1. 008

※2015年国勢調査

近隣市町村名

(旧)加世田市

人口

23, 506

近隣市町村名

(旧)笠沙町

人口

3, 447

(旧)大浦町

2, 678

(旧)坊津町

4, 173

(旧)金峰町

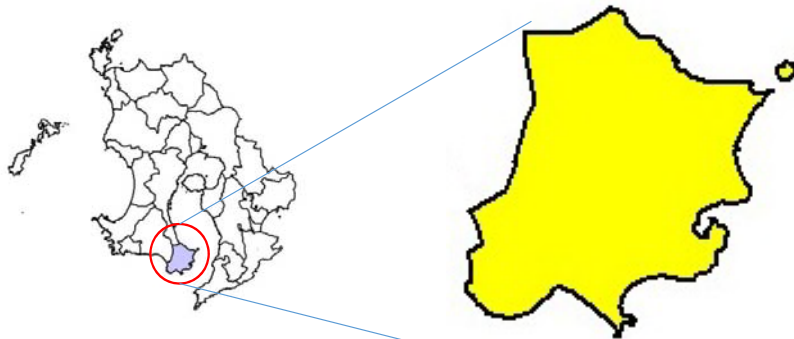
7, 873

※2005年国勢調査



どんどん
鹿児島

指宿市圏域定住自立圏



鹿児島県

指宿市

合併1市圏域

主な取組

生活機能の強化

- 休日又は夜間の診療を行う在宅当番医の設置
- 地域住民に対する救急医療知識の普及・啓発

結びつきやネットワークの強化

- 市内循環バスの運行
- 無人駅(山川駅)における簡易業務やトイレ清掃業務の実施



圏域マネジメント能力の強化

- 地域づくりの中心的な役割を担う人材の発掘及び育成のための各種講座の開催

中心市宣言日	協定締結日	ビジョン策定日
2015.12.18	2016.9.23	2016.12.12

中心市名	人口	昼夜間人口比率
指宿市	41, 831	1. 008

※2015年国勢調査

近隣市町村名	人口	近隣市町村名	人口
(旧)指宿市	29, 649	(旧)山川町	10, 326
(旧)開聞町	6, 847		

※2005年国勢調査



とんとん
鹿児島

事務の共同処理の状況

(2018.4.30現在)

共同処理制度	設置件数	主な事務内容(件数)
一部事務組合	36	ゴミ処理(9), し尿処理(9), 消防救急(9), 火葬場(7), 介護保険(9) ほか
広域連合	2	後期高齢者医療(1), ゴミ処理(1), 火葬場(1), と畜場(1)
連携協約	3	連携中枢都市圏における協約(3)
協議会	3	消防通信指令(1), 林道維持管理(1), 視聴覚教育(1)
機関等の共同設置	0	—
事務の委託	66	公平委員会(47), 空港管理(7), 介護認定(2)
事務の代替執行	0	—

県と市町村との連携に向けた取組 I

I. 三島村・十島村における行政サービス提供体制のあり方の研究

連携団体

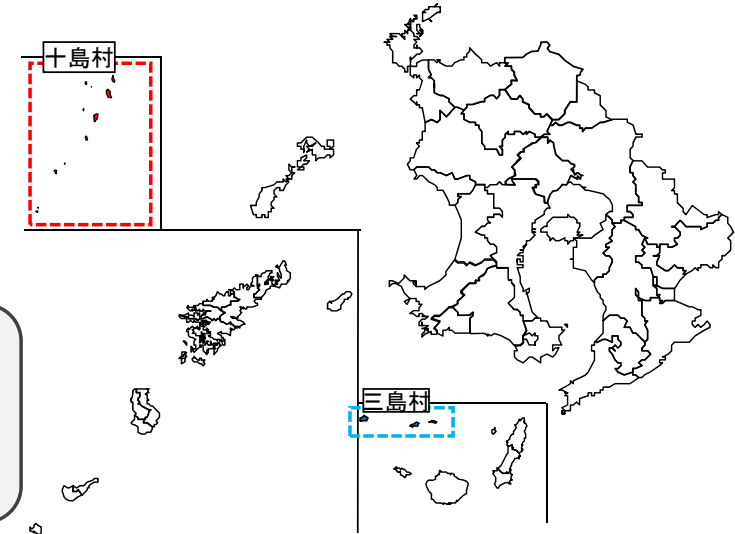
三島村(人口407人, 面積31.4km²), 十島村(人口756人, 面積101.14km²)

背景・経緯

外海離島特有の行政課題や小規模自治体固有の課題を有する三島村及び十島村をモデルとして, 市町村間の広域連携や県と両村の連携のあり方等について検討・研究を行う。

検討内容

- ① 両村における分野別行政サービス提供体制の現状と課題
 - ・ 平常時: 地域医療(看護師確保, 救急体制・急患対応), 産業振興(観光, 農業), 技術職員(建築技師), 介護・子育てに係る人材確保・人材育成, 人事交流
 - ・ 非常時: 技術職員(災害対応), 防災・災害対応(避難場所の提供), 電算システムの連携
- ② 両村の今後の行政サービス提供体制のあり方
 - ①の課題など解決に向けた連携の方向性について検討。
 - 両村内において取り組むことと, 自治体間で連携して取り組むことに分けて整理。



県と市町村との連携に向けた取組 I

研究の成果

- 両村から挙げられた課題等の中には、技術職員の不足のように、両村のような離島市町村に限らず、県本土の条件不利地域にある市町村に共通する課題も多い。
- 従来の支援の取組に加えて、どのような連携が図れるか、県がその連絡調整機能等を発揮していくことが重要である。
- 技術職員の人的支援などに関しては、県においても余裕がない状況。観光や人事交流などについては、県においても連携した取組を進めていきやすいものと考えられる。

今後の課題

- 広域自治体としての県が従来の取組に加えて必要な助言や支援等を行いながら、本研究を契機として更なる検討を進めていく必要がある。
- 連携の第一歩としては、両村はもとより小規模自治体が情報を共有し合えるような場を設け、共通の課題や事務処理上の工夫などの参考事例等について意見交換を行うことなども必要である。



県と市町村との連携に向けた取組 Ⅱ

錦江町の産業振興の研究

連携団体

錦江町(人口8,051人, 面積163.51km²)

背景・経緯

- 錦江町は、人口減少、高齢化の進展が顕著。
- 専門職員が不足し、行政サービスの提供体制に課題を抱えている同町における産業振興(農業)の課題解決に向けて、県と町が連携して取り組む。

検討内容

- 県と町が連携して、錦江町の農業振興(新規栽培品目の選定及び農産物の高付加価値化・販路開拓による農業経営の安定化)の促進を図ることを目的とした検討委員会を設置。
- 検討委員会において、新たな施策の企画・立案のための課題等の整理、また、そのための先進地研修視察などを実施。



県と市町村との連携に向けた取組 Ⅱ

研究の成果

- 県の有する専門的知識や人的ネットワーク, 既成概念等にとらわれない第三者的な視点の活用により, 町単独で行う場合と比較して, 課題検討の取組の幅が広がるとともにその内容が深まった。
- 農業を含む産業振興の企画・立案について県による補完が有効と確認された。

今後の課題

- 町と県の連携協約の活用に当たり想定される以下の課題を整理する必要がある。
 - 町と県の役割分担の明確化
 - 県による柔軟な補完体制
 - 継続的な連携の取組に向けた課題の整理(費用負担など)



鹿児島県の市町村連携における課題

人口減少と高齢化の進展

- 人口推計
2015年 164.5万人 → 2045年 120.4万人（▲26.9%）
➢ 市町村の減少率は▲13.2%～▲66.8%，7市町村で半減
- 高齢化率
2015年 29.4% → 2045年 40.8%
➢ 市町村の最大64.6%

➡ 地域を支える者は減少する中，医療・介護ニーズ等は増大

小規模自治体におけるノウハウ・マンパワーの不足

- 市町村職員数の減少 2007年 2.2万人 → 2017年1.9万人
 - 小規模自治体では，少人数で行政運営（例：三島村45人）
- ➡ 業務の多様化，業務量増加への対応が困難

将来を見据えて，持続可能な行政サービス体制をどのように構築していくか

広域連携の
推進



とんとん
鹿児島

鹿児島県における取組の方向性

かごしま未来創造ビジョン(2018.3策定)

- 定住自立圏や連携中枢都市圏, 様々な事務の共同処理の仕組みなどを活用した市町村の広域連携に係る取組を支援
- 市町村間の連携による課題解決が難しい課題に関しては, 県と市町村が一体となって対応を検討

県

市町村の行政サービスの提供に関する課題把握, 情報提供, 意見交換 など

市町村

広域連携等を活用した持続可能な行政サービスの提供

鹿児島県民が安心して快適に暮らせる地域社会の形成



ご静聴ありがとうございました。



どんどん
鹿児島



どんどん
鹿児島